



# 郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ **ひだまりロータリー**

会長：和田良一 副会長：三島 昭 幹事：島崎秀樹

第 1966 回 令和 1 年 9 月 11 日(水)

## 本日の行事 会員卓話（公共イメージ委員会）

2019-20 年度  
幹事報告

\* ガバナー事務所より  
援金協力の願い

和田良一会長  
島崎秀樹幹事

九州北部暴雨災害義

\* 米山記念奨学会事務局より 奨学生レポー  
ト提出について

\* 各務原中央 R C より 地区大会登録の願  
い

\*\*\*\*\*

### 第 1965 回例会

#### 会長挨拶

2019-20 年度 和田良一会長

皆様今晚は。先月 30 日の高鷲のオークひるがのの IDM、今までとはちょっと違った設営で、大変良かったです。麦島君、ありがとうございました。

大分前の日経新聞に載っていたのですが、子供の難病 筋肉が萎縮する脊髄性筋萎縮症の治療薬です。遺伝子を書き換える一度の投薬で治療できるという優れたものです。スイスの会社が製造しアメリカで 2 億円超で発売しているそうです。アメリカは 1 回の投与で効果があった場合は支払し、効果のない場合はお金を支払わないということです。薬価の決め方は 10 年 他の薬で治療を続けた場合の費用の半分強という事です。日本での患者は数百人程度で、安くても 1 億円強になる見通しだそうです。これが日本の医療保険財政を圧迫する可能性が高いと云う事です。ただ子供にとっては 1 回の投与で救われるのなら、素晴らしい事ではないかと思えます。それより年を取ってからの延命治療もいかがなものかと思ひ、皆さんで考えてみたい話です。

#### 活動報告（児童クラブ訪問）

青少年委員長 佐藤備子君

今までやっていた、中学校への出前講座は、JC などほかの団体もやっていて、重なってしまうので、子育て支援か小学生に目を向けてみては、ということで、昨年は、放課後児童クラブへの支援を計画して、継続事業として今年も行いました。

まず放課後児童クラブ（学童保育）について調べたことや、先生に聞いたことを お話しします。放課後児童クラブは、両親が共働きで、児童が帰宅しても保護者がいない、おじいちゃんおばあちゃんなど、面倒をみる人もいない家庭を対象に、放課後や長期休暇に児童を預かる事業のことです。子供たちは学校の授業が終わるとランドセルをもったまま、教室に入り、おやつ時間、遊びの時間、宿題などで過ごします。保護者会が運営主体とっていて、学校の先生はノータッチです。

指導員は一般の主婦らで、平成 28 年から指導員の資格を取らなくなるとはいけなくなって、県の講習を受けて資格をもっていらっやいます。

時間は下校後～18 時まで 夏休み等と学校事業で休校となる平日は 8 時から 18 時、料金は、市の基準利用料は月 5000 円、7 月は 7000 円 8 月は 10000 円 夏休みのみの利用は 13500 円、昨年報告発表したときは 9 か所でしたが 2 ヶ所増えていて、郡上市内 11 ヶ所に開設しています。7 カ町村と高鷲、大和は 2 ヶ所ずつです。八幡は 3 か所に増えていました。

子供の人数は減っているというのに、このように開設が増えているということは、とも働きが増えていて、おじいちゃんおばあちゃんなど、めんどろをみってくれるひとがいない核家族、一人親の単家族、が増えてるから・・・。

そんなふうで、指導員が足りなくて、行政には募集をかけて増やしてほしいということを、いつも言っておられるそうです。夏休みは特に時間が長くて、人数も増えるので、補助員をたくさん頼んで、午前と午後に分けて担当をするそうです。

白鳥は、白鳥小学校1つか所に、大中、那留、牛道、北濃、全部が集ってきます。保護者会が主体ですので送迎は保護者で相談して乗り合わせたりして行っているようです。お迎えは各自です。

白鳥では登録は100人ほどで、平日は30人前後の子供たちがあつまってくるそうです。夏休みは、多く増えて50人以上になるので、白鳥小以外に、大島コミュニティーセンターを借りて2か所に、分かれます。

去年は、春休みに訪問して、子供たちと工作（レジンアクセサリー）作りをしました。

まずその前に下見で行ったときに、27名で低学年がほとんどでしたが、とにかく元気でパワフル、言い方を変えると騒々しい！まず、私は質問攻めにあって、「だれ？」「どこから来たの？」…その中には個性的な子、常に自分をアピールしたい子がいて、いわゆる発達障害の子もいました。

4人の先生で見られてたんですけど、ほんとに大変そうでした。うまくできるか心配でしたが、去年の様子を原さんが撮ってくださって、その一部です。みんなとても喜んでくれました。

昨年春休みに行ってみて、夏休みは一番大変で、ここの所は猛暑で、プールは中止、外でも遊べず、ほんとに大変やったと言っておられました。なので いつも何か来てもらえるイベントをもとめているそうです。読み聞かせの人に来てもらったり、鼻笛を吹く人に来てもらって演奏してもらったり、体操を教えてもらったりと・・・

前回、私たちの申し出を大変うれしくありがたく思っていると、言っていました。

それで、今年は夏休みに何かやらなくてはと思い、最初 里恵子さんから提案のあった“くむんだー”という木製のジャングルジム 作るワークショップがあるので 行ってみないかと誘われました。

相生小で くむんだー郡上の授業がおこなわれ、里恵子さんと見学に行き、少し参加させていただきました。くむんだー郡上、兼定さんのこと については、里恵子さんに紹介説明をお願いしているので、後でお話させていただきます。

相生小では5年生の授業で取り入れていましたので、これを児童クラブでやるには、年齢的にと、人数的にどうかとは思ったのですが、ヘルメットをかぶってやっているけど、危険なことではないし、低学年でもできるし、サイズの小さいものもあって教室でもできるということでしたので、児童クラブの、先生に持ち掛けました。結果は、保護者や先生との会議で、危ないのではないか？？心配だ！！

という声がありまして、せっかくの申し出ですが、これは無理そうというお返事でしたので、今年もまた、工作（レジンアクセサリー作り）をしました。8/20島崎、原、宮川、井俣、羽土、畑中、松森、野島、佐藤、事務局原 10名です。

最初、メンバー紹介で、私たちの仕事について興味を持ってもらえないかなーと思い、どんな仕事をしているのか一人ずつ話してもらいました、この事はよく話を聞いてくれて、先生にも大変良かったと評価いただきました

そのあと子供たちに質問などしてもらおうと思ったのですが、子供たちは、早く工作がしたいばかりで、なかなか質問は出ませんでしたので、前もって、アンケートをして質問など書いてもらっておけばよかったなーと思いました。

工作に移り40名ほど、前回の倍の人数がいましたので、グループ分けをしてもらって順番に隣の教室にはいってもらって行くことができました。

作る中で うれしそうに「2回目でこの前の違う形にした！」と言う子。うまくいなくて、ちょっとすねる子もいました。最後のグループでALTの松本先生（夏休みは補助員として手伝いをしていた）が加わって、作りにきたのですが、彼は子供たちに人気で、先に作った女の子たちに囲まれてこうやってやるんやよ！次はここへもって行ってやるんやよ！子供たちに教えてもらって作っていました。

うまくできなくて拗ねていた子なのですが、「これうちへ持って帰ってもお母さん、すててまうんよ、この前のも捨てたも」という子がいて、私は絶句して言葉が出てこなかったのですが、こんな時に何か気の利いた言葉をかけてあげられたらなあと思い、考えさせられたのですが

後から指導員の武藤先生に、そんなことを話したら「佐藤さんそんな気の利いたことは何にもええんやで、いい事も悪いことも 子供の話を聞いて、共感してあげればいいんよ。」気持ちを言葉にして共感することによって、子供は次の事を自分で考えられるようになると教えていただきました。



「捨ててしまったら、はりやないんなあ」と気持ちを言葉にしてあげれば良かったんやと思いました。そう思うと大人の私自身も、うれしいことも、えらいことも、家族や身近な人に話して共感してもらって支えてもらっているな—と思い、子供と一緒にだと思いました。

それと、先生のお話の中で、春休みの時には、「ぼくは作らん！きらいや！」と言って作らなかった子が、夏休みの時は、最初は作らん—と言っていたけど、みんなの楽しそうな様子を見て、最後のグループに入って作ったら、

笑顔で自慢げに、「お母さんにも見せてやるんや」と嬉しそうにしていたそうです。

くむんだ一郡上のジャングルジム作りの時も、そういうことがあって、おとなしい声もよう出さなんだ子が目を輝かせて、一生懸命取り組んでいた姿が印象に残っています。

児童クラブは、低学年の子を面倒を見るお手伝いに過ぎないかもしれませんが、自分たちが学ぶこともある。

今は地域で遊ぶところもないし、近所の子と接することもない、隣の子も全然知らないの、身近な子供を見守るような気持ちで、また出来ると良いと思います。

## くむんだ一郡上について

美谷添里恵子君

夏休みのレジン作りの感想文を見ていて、子供たちが御礼のお手紙があり、中々このくらいの子たち

と接することが私達にはなかったの、良い体験になったのではと思いました。2年目と云う事で、期待している子たちもいますし、続けていくことも良いことだと思います。

知り合いの相生のカネサダ番匠さんですが、昔ながらの大工さんで良く知っていますが、その方から協力してほしいと言われ、参加したのですが、全国にくむんだ一協会があり、2011年に滋賀県の川村さんという100年続く3代目の大工さんが、日本伝来の日本家屋が少なくなってきたことに危機感を持ち、気の良さ意を子供たちに伝えたい、そのためにどうしたらいいか考え、木製のジャングルジムを作りました。大工の技術を生かし、柱に横材を入れ、く



さびで止めるというジャングルジムを作りました。今では全国で18都道府県でくむんだ一協会に加盟しています。郡上くむんだ一は兼定さんが始めて2年目くらいです。岐阜にもあります。7月2日に相生小学校で行うと云う事で見に行きました。5年生の生活の時間に行き、兼定さんは地元の大工さんなので出前授業みたいで5年目になるそうですが、授業をされているそうです。最初30分授業を行い、その後に行いました。体育館で行ったのですが、

柱を立てて貫を入れて、くさびを入れて金槌で打ち、みんなで協力しながら組み立てていました。完成したジャングルジムで遊んでから、解くと言いますが、外す作業をして整頓して片付けます。木の匂いや肌触り等を感じる、ものづくりの楽しさと達成感で、子供たちは最初は小さい声だった子が、どんどん行き来して、出来た頃にはみんなが一番高い所に登りたがっていて、それを見ているとこれが木育だと、教育はこういうものじゃないかなと感じました。とてもよい玩具なので、是非これを青少年の活動に使っていただければと思って提案しましたが、先ほど言われたように危険ではないですが、色々心配事があるので出来なかったのですが、5年生は心配ないのですが、児童クラブの低学年では少し心配かもしれません。こういう機会をどこかで出来ると良いなと思います。販売はしていなくてレンタルで、指導者が一人見えて大人が4、5人いればいいです。時間は作るのに1時間、遊んで片付けるのに1時間です。ロータリーで使ってもらえたらいいなと思います。兼定さんには2月の外来卓話で話してもらおうと思います。これからの事だと思いますが、こういうものもあると云う事を話させてもらいました。

## 新入会員の紹介

氏名： 旗 哲朗君 (はた てつろう)

事業所： 覇楼館 代表取締役

職業分類： レストラン



## ニコBOX

ニコBOX委員会 石徹白秀也君

和田君 篠哲朗君、入会おめでとうございます。一緒に楽しくやっていきましょう。30日のIDM、  
麦島君ありがとうございました。大村さんの劇的な再会もあり楽しかったです。

美谷添生君 篠哲朗君、入会ありがとうございます。9月に入り台風が心配です。7日（土）は栢洞白  
山神社の縁日です。拝殿踊りを行います。我が家でささやかな酒宴を催しますので、都合のつく人はご  
参加ください。夕方6時頃から順次始めますので、いつの時間でも結構です。

寺田澄男君 呉君、ようこそ例会へ。先日の発表お疲れ様でした。いい経験をしていますね。篠君、入  
会おめでとう。ロータリーを楽しみ、親睦を深めて下さい。

佐藤君 商工会のミステリーショッパーに申込みした所、知らない間に調査があり、先月報告がありま  
した。接客をほめて頂きホッとしました。

美谷添里恵子君 9月に入り、秋らしくなったと思いましたが、昨日から暑さが逆戻りしました。夏の  
疲れが取れません。

藤代君 篠哲朗君ようこそ。入会おめでとう。一生にロータリーを楽しみましょう。

羽土君 篠君、入会ありがとう！ロータリーを楽しみましょう。

大村君 篠さん入会ありがとう。一緒に勉強しましょう。楽しく！！呉君、元気ですか。

山口君 ようこそロータリーへ。篠哲朗さん、良き仲間となりましょう。

山田君 篠君、入会おめでとう。これからもよろしく。

同文 畑中君、井俣君、原君、岩谷君、三島勲君、石徹白君、寺田正実君

## 次回例会予定

9月15日 IM（各務原産業文化センター）

9月24日 高鷲例会（ひるがの高原）

9月18日 外来卓話（堀部哲夫様）

10月 2日 外来卓話

## 出席報告

出席委員会 寺田正実君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数
第1964回	34名	26名	6名	2名
第1965回	35名	24名	9名	2名